

平成28年度

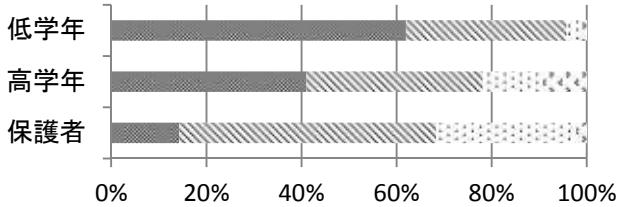
平成28年11月28日

# 南太秦だより (特別号)

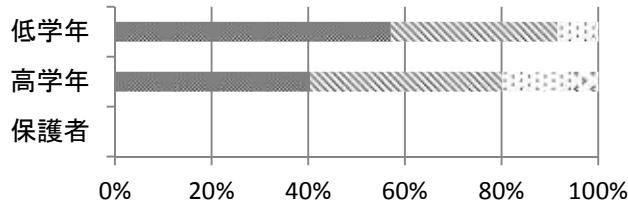
～学校評価について～

前期の児童評価・保護者評価をまとめました。グラフの左から(A)そう思う (B)どちらかと言えばそう思う (C)どちらかといえば思わない (D)思わない、の割合を表しています。保護者の方のアンケート項目と合致しない項目は空欄にしています。

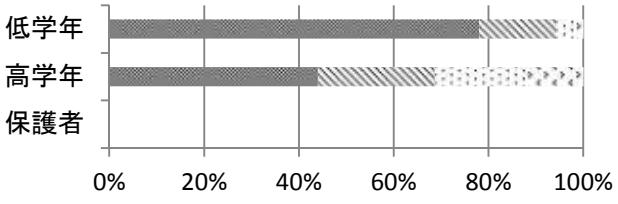
## 1. 授業で楽しく学んでいる



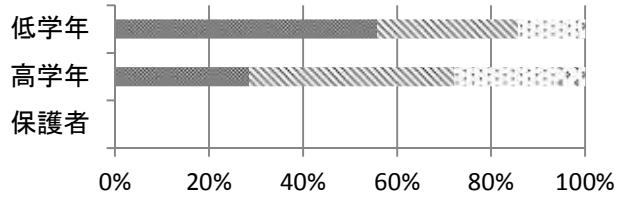
## 2. 授業がわかりやすい



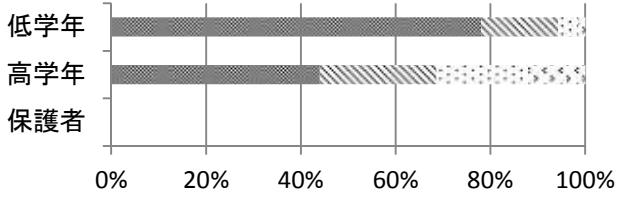
## 3. 話をしっかりと聞いている



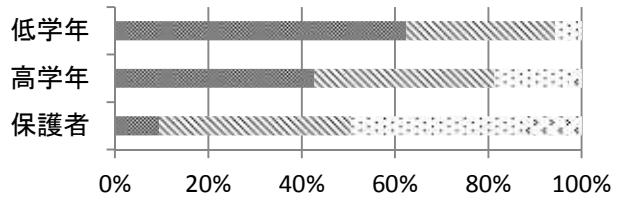
## 4. 考えたことを発表している



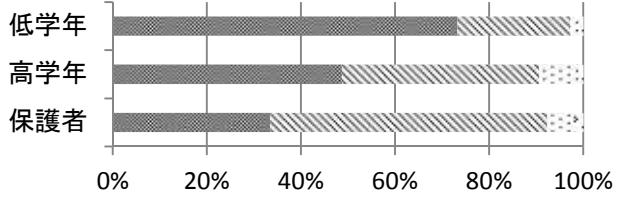
## 5. 本をたくさん読んでいる



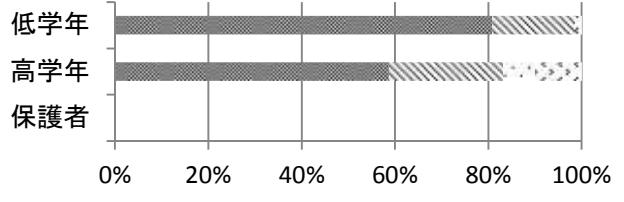
## 6. 家庭学習にしっかり取り組んでいる



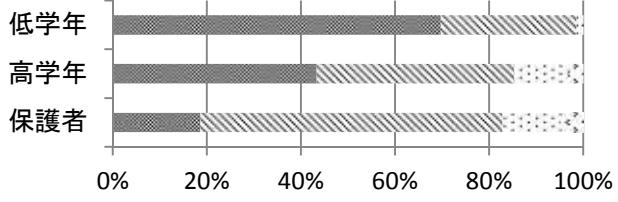
## 7. 友だちはやさしくてなかよし



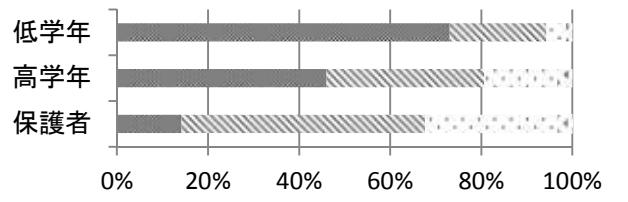
## 8. 先生に話を聞いてもらえる



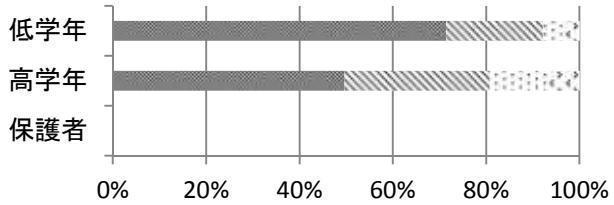
## 9. きまりを守っている



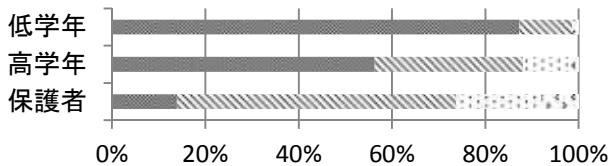
## 10. 進んであいさつをする



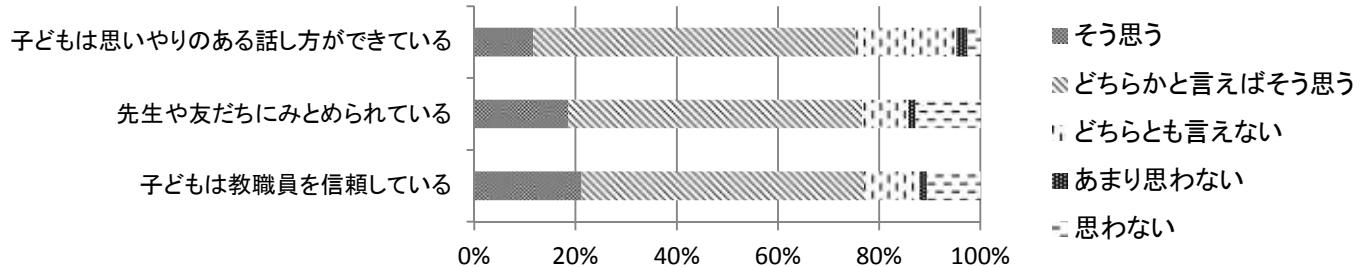
## 11. ゲームやケータイのルールを守る



## 12. けがをしないように安全に気をつける



## 保護者の方独自の主な質問項目



## 〔結果より〕

- 授業では、高学年になるにつれ「分かりにくい」「難しい」という意識が表れています。また、楽しく学んでいる実感も減少しています。より分かりやすくより興味をもって学ぶ授業づくりが課題です。
- 授業中にしっかり話を聞く、意見を発表するといった主体的な授業の構築をしていかなければなりません。
- 家庭学習に対する意識は開きがあります。家庭学習には宿題や自主学習や習い事の学習など様々あると思いますが、家庭で必ず学習しておいてほしいことを宿題に出します。学校の授業を補うために宿題を出す場合があります。昨年は漢字練習は学校中心で行ってきましたが、必要に応じて漢字も宿題に出すことがあります。もちろん、その他算数や社会・理科など、授業に連動した必要な課題も宿題として出します。
- 与えられた宿題以外でも、自主学習を推奨します。（例. ①習ったことをノートに再びまとめる ②明日の予習をする ③習ったこと以外でももっと調べたいことをまとめる ④チャレンジしたいこと（県名覚え、九九の暗唱、漢字検定、新聞読み、読書・・・）。これから社会は、自分で問題に気付き、解決方法を見つけ、人と協力して問題解決していく力が必要になってきます。主体性・社会性を育んでいこうと考えています。
- きまりを守る意識が高学年になるにつれて下がっています。一つのきまりが守れなければ、また次のきまりも守らなくなり、アリの一穴のようにどんどん穴が広がっていきます。「南太秦のきまり」をもう一度ご家庭でも確かめていただき、お子さんの持ち物や服装、遊び方などに留意していただきたいと思います。
- 近頃は、ケータイやゲーム使用の低年齢化が懸念されています。特にケータイ（スマホを含む）は、人とつながる便利な道具ですが、SNSなどを利用して逆に人を傷つける場合もあります。ケータイやゲームなどは子ども任せにせず、保護者の方がしっかりと管理してください。



子どもたちが自己有用感を感じる学校でなくてはいけません。「私は必要とされている。」「私も大事、友だちも大事。」「また明日も学校へ行きたい。」という思いをみんなが持てる学校でなければいけません。そのために、子どもたちと教職員のコミュニケーションをさらに深め、聞き上手になるとともに、保護者の方とも連携していかなければいけません。よりよい学校づくりのために、今後ともご協力よろしくお願いします。

